

# 青森県医療費適正化計画(第二期)の進捗状況

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標)	見解
住民の健康の保持の推進									
特定健康診査の実施率 (%)	35.0	37.3	39.5	40.7	44.1	45.1	45.7	68.0以上	年々増加傾向にありますが、目標値を大きく下回っているため、各保険者による未受診者対策の取組強化を促進し、一層の実施率向上を目指す必要がある。
特定保健指導の実施率 (%)	18.6	19.2	19.7	22.9	22.8	23.3	24.1	45.0以上	年々増加傾向にありますが、目標値を大きく下回っているため、各保険者による未受診者対策の取組強化を促進し、一層の実施率向上を目指す必要がある。
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(%) 【平成20年度比】 ※1	△ 1.10	△ 3.28	△ 0.94	△ 0.91	△ 1.08	△ 1.93	△ 1.22	25.0以上 減少	毎年微増傾向にあり、目標値と乖離していることから、生活習慣の改善など減少に向けた取組を強化する必要がある。
医療の効率的な提供の推進									
医療機能の強化・連携等を通じた平均在院日数の短縮(日) ※2	32.5	32.0	31.4	31.1	30.1	30.2	30.2	31.5以下	年々減少傾向にあり、平成29年度の数値目標を既に達成している。
医療に要する費用の見通し									
医療費(億円) ※3	—	4,237	4,223	4,301	4,324	4,469	4,413	(適正化前) 4,734 (適正化後) 4,698	医療費適正化の目標を達成した場合の平成29年度の医療費の見通し4,698億円を下回っている。医療費が過度に増大しないよう、引き続き医療費適正化に取り組む必要がある。

※1 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率は、プラスは平成20年度と比較して低下している状態を示し、マイナスは平成20年度と比較して上昇している状態であることを示す。

※2 平均在院日数の出典は「病院報告」(厚生労働省政策統括官付参事官付保健統計室)であるが、年度単位ではなく、年単位の統計のため、表中「平成〇年度」を「平成〇年」と読み替える。

※3 平成23、26、27年度の医療費は、「都道府県別国民医療費」(厚生労働省政策統括官付参事官付保健統計室)を記載。平成24年度及び平成25年度分の医療費は、国が推計した医療費を記載。